

「今、私の晴雨計は！」

62

## 「改めて日韓問題を考える」

平山征夫

日韓関係は今、戦後最悪と言われる状況にある。慰安婦問題に続いてレーダー照射、徴用工への個人賠償請求、輸出特別扱いの撤回など、次々と紛争案件が発生、冷静であるべき外交が感情的エスカレートすら見せている。徴用工問題では、日本企業の資産処分という事態に至ったが、それに反発するように日本からの輸出特別扱い解除措置が発動され（日本側は安全保障上の事務手続きで報復措置ではないとしているが、そう受け止められていない）、一挙に加熱。輸出扱い問題がWTO

理事会の場に持ち出され、事態は本格的対立の様相を強めている。うえ、韓国もここへきて同様に貿易上の特別待遇国リストから日本を外すなど、泥仕合の様相を呈している。双方とも米国に仲介役を期待しているようだが、肝心の仲裁役のトランプ大統領自身、今や対中、対イランなど最大のトラブルメーカーとあって、この構図は何だか漫画チックにすら見える。現状、解決の兆しは見えていない。

そんな折、先月ソウルに行ってきた。第二回の「日中韓三ヶ国朱鷺国際フォーラム」が開かれたからだ。短い滞在だったし話をしたのは「協力してゆこう」という朱鷺関係者だった（一部に外務省幹

部もいたが）ので、関係の悪さを感ぜさせられる場面はなかったが、聞けば一部店舗から日本製品が消え、不買運動が広がっているほか、双方の旅行者がかなり減って運休便が出ていると言う。徐々に両国経済に影響が広がり始めており、このまま行くと両国関係はかつてない深刻な状況に至る懸念もあると感じて帰ってきた。あれから一ヶ月、事態は懸念通り悪化の一途を辿っている。先日の文大統領の会見での「北朝鮮と組んで一致協力経済成長に努めれば、日本を追い抜くことも十分可能」と北への秋波を送っていたのには驚いた。その北は米韓軍事演習に反発して日本海に小型ミサイルを連日発射、それに対してト

ランプ大統領は「中小型なら問題にすべきことではない」と容認、更に北は「合同演習が終わればミサイル発射はない」とのアメリカへの交渉声明が出されるなど、朝鮮半島を巡る事態はもうごちゃごちゃだ。ミサイル発射は明らかに国連決議違反だろう。自分のところへ届かない中小型なら良いというか。そんなトランプ大統領に対する日本政府の反応も核廃絶運動と同様アメリカ同調で私には見苦しい。

漸く日中関係に改善に動きが見えてきたが、このところ良好な日米関係と裏腹に日中・日韓関係はずっと良くなかった。その原因としては、もともと対ロシアの北方四島同様、対中国でも尖閣列島

の領有問題があるし、韓国とは慰安婦・竹島問題などがあり、未だに戦後処理で火種を抱えたままであることが要因としてある。これら領土、賠償問題は国益上の対立を伴ううえ、戦争加害者、被害者という決定的な立場の相違が議論を難しくする。私は専門家でないが、知事時代から何度も韓国を訪問し、近年両国の関係が一番

良かったとされる「二〇〇二年ワールドカップ日韓共同開催」も開催地知事として経験した。また、それは戦後北朝鮮に帰還する人々を輸送した「北送船」の出航地として「複雑な思いでその名前はいつも聞いていた」と韓国の人に言われる新潟の知事でもあった。そうした経験の中で日韓関係

を見ると、WC共同開催以降、日韓関係は傾向としては悪化している。ずっと見てきて、日韓問題の背後にはそもそもスタート時点にずれがあり、それが近年政権のスタンスの違いで拡大しているうえ、両国の経済依存関係の低下がやはり影響していると思っている。

まず前者であるが、明治維新後間もなく興った「征韓論」が良い例だ。一般的には「韓国を征伐する」という主張と捉えられているようだが、「ロシアが不凍港を求めて朝鮮半島を狙っている。それは日本にとって大きな脅威だ。だから遅れている韓国を早く近代化し強兵化しないとイケない」という議論だ。その後朝鮮側に維新

を働きかけるが埒が明かないので「そんなところに関わっていないで、欧米を視野に日本自体の近代化を進めた方がよい」というのが福沢諭吉の「脱亜」論（福沢は「入欧」は唱えてはいない）。勿論、この発想にはロシアの朝鮮半島進出阻止という日本の防衛上の理由が大きいが、「維新により近代化を果たした我が国に見習わせたい」という一方的な思い入れがある。日露戦争の勝利が形だけでこのロシアの脅威が残って

しまったため、「韓国が自らやれないなら日本が併合して近代化を図るしかない。自立出来るようになったら手を引こう」という考えから韓国を併合、初代総督として赴いて暗殺された伊藤博文も

同じ線上の考えだ。そして欧米の植民地政策からの「アジアの解放」や「大東亜共栄圏の形成」を謳って戦った太平洋（大東亜）戦争に敗北したが、そこから日本人は何を学び反省したのか今も問われている。

知事時代、訪問した韓国である人にこう言われた。「日本は欧米の侵略からアジアを解放すると言ったが、いつの間にか侵略する側に廻っていた。でもそのことを日本人は殆ど認識していないが、裏切られた分我々の恨みは強いのかも知れない」と……。この言葉にハツとした。日韓問題のスタートである先の大戦に対する認識に両国間で大きなズレがあると思った。それが近年政権の右

傾化と左傾化により一層ズレが拡大していることが基本要因だろうと思っっている。かつても似たような政権のズレはあったが、現在がおそらく最大だろう。

後者は明確だ。韓国経済の対外依存度は相変わらず高いが、今世紀に入って急速に主な依存先は日米から中国にシフト、併せてかつて30財閥と言われていたのが10財閥に集約、それも圧倒的に「サムスングループ」が大きな存在となった。このことは、韓国から見て日本を頼る度合いが低下したばかりでなく、日本の家電メーカーを追い抜いたというサムスンの自負は、そのまま韓国政府が日本を見る眼にもなっただろう。好き嫌いはあっても韓国に

とって日本は、ずっと追いかける経済モデルであったが、「追い抜いてしまった」以上、もう見習うべきモデルではない。そうなる日本への畏敬の念はあつという間に消える。にも拘らず日本側はまだアジアのモデルだった優越感の中に浸っている。少なくとも密接だった経済関係が実質的に低下した分、両国の関係は遠のいてゆく方向に置かれていることは否定できない。

ではどうしたら良いだろう。まずはそもそもそのズレを双方意識して縮めなくてはならない。もう一度歴史を見直し、正しい歴史認識を持つこと、ポピュリズムに歴史を利用しないことが重要となるし、市民など幅広い幾層もの交

流の中から、政治に利用されない

信頼度の高い友好関係を構築すべきだろう。これには時間がかかるが、今から地道に努力すべきだ。

当面の両国関係は、ここまでこじれた以上、政治理念が大きく開いている現在の両首脳による修復はかなり困難だろう。しかも政治問題にとどまらず、旅行者減に表れているように双方の反日、反韓という国民感情に火が付いてしまった以上、残念ながら早期改善は困難だ。経済的依存度低下は仕方ない。冷徹な経済現象だから・・・。それを受け入れたうえで「経済的関係の深かった隣人から、昔ほどでなくてもお互い気を許し助け合える良い隣人関係に変えてゆこう」と思うしかないだ

ろう。

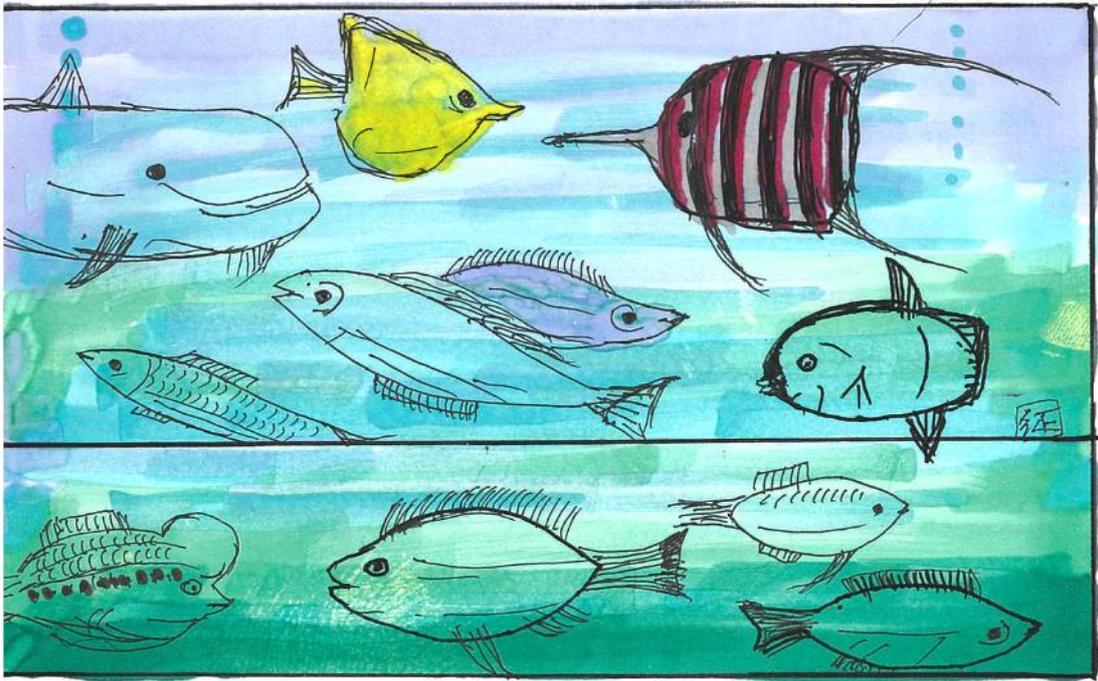
私が「良く生きる」ための知恵として心がけていることがある。

それは相手がある行動や発言をした時「どうしてそんなことするのだろう」と考えるが、自分の立場からではなく、極力相手の立場に立って考えてみるよう心がけている。「どうして彼はあんなこと言ったのだろう」と・・・。中々正確に理解は出来ないが、それでも相手の考えや気持ちが少ないもわかると、正しい問題解決に大いに役立つ。日韓両国トップにも「一度相手の立場になってどうしてあんな行動に出るのか」互いの立場に立って考えることをお奨めしたい。猛暑が少し和らぎ始めた夕方、「双方、少し熱を冷

ましたら良いのに・・・」と思いな  
がら帰宅、TVをつけたら飛び込  
んできたニュースは「韓国、GS  
OMIA破棄、日韓関係更に悪化、  
安全保障にも拡大か？」だった。

私の正直な第一印象は「これは  
まずい。北を想定した日米韓の安  
全保障体制から韓国は抜ける気  
か！先日の文大統領の会見での  
北への経済協力呼びかけと同じ  
発想だ。本気で半島統一を狙って  
いるのか？」だった。果たして今  
後の展開や如何。そんな折、新潟  
市民に広く韓国文化などを紹介  
する「韓日ハンガウィ祭り」が今  
年も9月13日開かれる。

(令和元年 8月30日)



「水天宮」  
(小学校時代の私の代名はアジ)